

ECO-FRIENDLY

人とクルマと自然が、いつまでも
いい関係でいられるように。

ダイハツは、生産から物流・販売、走行、廃棄に至るすべての段階で、「人」と「環境」に配慮したクルマづくりをめざしています。クルマそのものの低燃費化、低公害化を高次元で実現することはもちろん、ダイハツ工業全体でISO14001※1の認証を取得するなど、さまざまな角度から環境保全対策を推進しています。

環境負荷物質の低減

廃棄時に漏出する恐れがある環境負荷物質（鉛、水銀、六価クロム、カドミウム）の削減は、日本自動車工業会（自工会）の目標を達成しています。

ロッキーの環境仕様

車両型式	5AA-A202S		5BA-A201S			3BA-A210S		
	GBSH	GBXH	GBSF	GBXF	GBLF	GBSV	GBXV	GBLV
基礎情報	エンジン	型式	WA-VEX型		WA-VE型		1KR-VET型	
	総排気量	(cc)	1,196				996	
駆動装置	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン						
	駆動方式	—		2WD		4WD		
燃料消費率※2	変速機	—			CVT			
	JC08モード	燃費 (km/L)	34.8	23.6	24.6	21.2		
		CO ₂ 排出量 (g/km)	67	98	94	110		
	参考:燃費基準 (2020年度) ※3 達成	2020年度燃費基準+40%達成		2020年度燃費基準達成				—
	WLTCモード	燃費 (km/L)	28.0	20.7		17.4		
		CO ₂ 排出量 (g/km)	83	112		133		
	市街地モード (WLTC-L)	(km/L)	29.6	15.9		13.4		
	郊外モード (WLTC-M)	(km/L)	30.2	21.9		18.7		
	高速道路モード (WLTC-H)	(km/L)	26.1	22.9		18.9		
	参考:燃費基準 (2030年度) ※3 達成	2030年度燃費基準達成 (100%)		2030年度燃費基準75%達成		2030年度燃費基準60%達成		
排出ガス	適合規制・認定レベル ※5	平成30年基準排出ガス50%低減レベル						平成30年排出ガス規制に適合
	試験モード	WLTCモード						
環境性能情報	規制値・認定値 (g/km)	CO	1.15			0.10		
		NMHC	0.05			0.05		
		NOx	0.025			0.05		
参考	環境対応車普及促進税制適合	○		—				
	グリーン購入法適合	○		—				
適合騒音規制レベル	加速走行騒音規制値:70dB-A							
エアコン冷媒の種類 (GWP値 ※6)/使用量 (g)	HFO-1234yf (1 ※7)/350							
車室内VOC ※8	自工会自主目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)							
環境負荷物質削減	鉛*1	自工会2006年目標達成 (1996年比1/10以下)						
	水銀*2	自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止)						
	六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)						
	カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)						
	自工会目標適用除外部品	*1.鉛バッテリー (リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *2.ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)						
環境の取り組み	リサイクル	リサイクルし易い材料を使用した部品	インストルメントパネル、ビラーガーニッシュ、ドアトリム、フロント・リヤバンパー など					
		リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー、シートアンダートレイ、エンジンアンダーカバー など					
		樹脂、ゴム部品への材料表示	あり					
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電子部品のはんだ、圧電素子に使用						

※1:国際標準化機構 (ISO) が1996年に制定したマネジメント (EMS) の国際規格、環境負荷を継続的に低減できるシステムを構築した企業、自治体の組織などに認証が与えられます。※2:国土交通省審査値。燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。※3:省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。※4:WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。※5:WLTCモード走行。※6:GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) ※7:フロン法において、乗用車用エアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。※8:厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。